

# ティーチング・ポートフォリオ

大学名 人間総合科学大学

所 属 保健医療学部 看護学科

名 前 直成 洋子

作成日 2023年9月28日

### 1. 責務（何を行っているか、何を果たしているか）

担当科目：慢性期看護学概論、慢性期看護援助論Ⅰ、慢性期看護援助論Ⅱ、慢性期看護学実習、統合実習、看護研究Ⅱ、大学生入門

委員会：学科教務委員会、広報委員会（オープンキャンパス、高大連携）、危機管理衛生委員会  
大学倫理審査委員会、ハラスメント対策委員会

1 学年担当：担当学生 15 名

### 2. 理念（教育に対する考え方）

建学の精神である「こころ」「からだ」「環境・社会」の側面から、人間を学際的に統合して科学的に探究するという考え方は、看護学を学修する学生にはとても重要な考え方です。

ウイズコロナ社会において、対象者への看護の視点は病院の場から地域の間へと広がっています。病いをもちながら生きる対象者を心理的、身体的、社会的側面から統合的に捉え、対象者への看護の理解を深めていきましょう。

### 3. 方法（教育方法において大切にしていること）

看護学科のディプロマポリシーでは「人間の総合的理解」「心身の相関」を基盤に基礎的な知識と実践応用能力を習得し、生涯にわたり看護師に必要となる資質と能力を身につけ、関連職種と連携・協働しながら、人々の健康維持・増進し、疾病の予防を支援する人材の養成を目的とする。とあります。

私が担当している科目では、慢性期にある対象者をまず身体的な側面から理解し、身体的な側面の状況が心理的な側面や社会的な側面に影響すること、その人の生活や生き方にも影響するという学びを理解することを大切にしています。

そして、病いをもつ人、その人間を理解することやその人の生活を理解することを基盤として、その対象者が生きることや生活することについて、事例などを通して具体的な支援を考えられるように工夫しています。また、保健・医療・福祉チームにおける関連する多職種と連携・協働しながら、健康生活を支援することの重要性についての学修も心がけています。

### 4. 成果（学生さんからの評価に対して、学生さんの学修成果について）

前期科目の慢性期看護援助論Ⅰのみの評価となります。（今年度4月入職のため）

学生からの評価では、疾病や治療に関する科目で履修したことを想起することから、その看護の理解へとつなげられるようにしています。そのため、学生から授業資料がまとめてありわかりやすい、見やすいなどの意見がありました。また、単元ごとに小テストを行なったことにより、学生が自身で自分の学修の理解をフィードバックする機会をもつことで効果的であったと考えます。

## 5. 目標（教育活動の中短期目標と達成時期）

看護学科では 2022 年度からの新カリキュラムでの教育課程が適用されています。そのため、2023 年度は 1 年生および 2 年生の授業や演習の実施・評価、2024 年度は領域別看護学実習の実施・評価、2025 年度は統合実習の実施・評価を行う必要があります。

そのなかで、私が担当している科目について、次年度への課題を明確にいたします。

慢性期看護学概論、慢性期看護援助論Ⅰ、慢性期看護援助論Ⅱについての科目の関連を明確にします。

また、慢性期看護学実習や統合実習へと積み上げられていくことが目標となります。統合実習は、2025 年度に実施・評価となるため、達成時期は 2025 年度を目標といたします。

\* 表紙を含め、全体として、3 ～10 ページ程度とします。

### 【添付資料】

- \* TP の記載内容を客観的に示すためのエビデンスとなる資料項目を箇条書きで列挙ください。  
(シラバス、開発教材、学生アンケート等、特に特徴的なものを列挙し、必要に応じて、  
すぐに確認できるようにしておきます。)